

## 市民懇談会

### 「限られた予算の中での道路行政」

#### 第6回市民懇談会報告

2月8日から15日の期間内に4会場で実施した懇談会では、19人の皆さんにお集まりいただきました。

市長は、国会において道路特定財源の暫定税率廃止を巡り、与野党の議論が展開していることに触れ、山武市も18年度の道路特定財源に係る税収は約8億円あったが、「道路整備のための大きな財源である暫定税率が廃止された場合には、今後は半分が見込めなくなることも予想される。ガソリン代を安くしたほうが得か、もっと道路整備を押し進めるほうが良いか、皆さんにもよく考えていただきたい」とあいさつをしました。

懇談内容の一部を紹介します。

○道路特定財源の暫定税率が廃止された場合に、市の道路行政はどうなりますか。

### 道路行政

●道路特定財源は、道路整備のために創設された財源で具体的には、

国 税：揮発油税・自動車重量税など

地方税：自動車取得税・地方道路税など

さまざまな税金を通じて、暫定税率を上乘せし、捻出しています。

暫定税率が廃止され、税収が半分になっても、市全体の予算に圧縮を加えますので、道路整備費自体が半分になる訳ではありませんが、いずれにせよ削減にはなつてきます。

○消防車等の大型車両が入れない狭い道路などの改良はどのように考えていますか。

限られた予算では新しい道路は無理としても、このような既存

の道路拡幅等に力を入れられないのでしょうか。

ある市町村では、このような狭い道路で交差点の隅切り改良を実施し、緊急車両等の利便を図るなど、費用をあまり掛けない工夫をしていると聞いたことがあります。

●緊急車両が入れないような道路は住宅密集地などに多く、拡幅には用地の他に建物の移転やその他工作物など、何もないところに新しい道路を作るより補償費用が掛かります。

拡幅は重要な課題でもあり、交差点の隅切り改良など、色々なアイデアを生かし、また、用地の無償提供など住民の方たちの理解と協力を頂きながら検討していきたいと思えます。



木原地先の松崎、滝ノ谷線土留工事

## 平成20年度

### 山武郡市広域行政組合予算の概要

問合せ 山武郡市広域行政組合 ☎(54)0252

一般会計予算は、当初予算45億8,036万1千円に對して、補正により6,450万8千円を減額し、歳入歳出総額はそれぞれ45億1,585万3千円を計上しました。前年度当初予算額と比較して、医療センター事業の廃止を含めて1億3,043万8千円(2.85%)の減となつています。歳入の主なものには構成市町からの負担金で、歳入総額の77.92%、歳出では消防費が歳出総額の52.97%を占めています。

#### ●歳入の部

分担金及び負担金 (構成市町からの負担金等)	3,518,746千円 (77.92%)
使用料及び手数料 (し尿処理の手数料)	575,613千円 (12.75%)
国 県 支 出 金 (国県からの補助金)	36,000千円 (0.80%)
財 産 収 入 (基金利子・土地貸付収入)	2,446千円 (0.05%)
繰 入 金 (清掃基金からの繰入金)	74,114千円 (1.64%)
繰 越 金 (前年度からの繰越金)	113,660千円 (2.52%)
諸 収 入 (受託事業収入等)	195,274千円 (4.32%)
組 合 債	0千円 (0.00%)
合 計	4,515,853千円 (100.00%)

#### ●歳出の部

議会費・総務費 (総務・企画・電算)	397,148千円 (8.79%)
民 生 費 (老人ホーム・デイサービスセンター・介護認定審査・障害程度認定審査)	372,597千円 (8.25%)
保 健 衛 生 費 (斎場・救急医療)	221,940千円 (4.92%)
清 掃 費 (し尿処理施設)	532,557千円 (11.79%)
消 防 費 (消防本部・消防署3・分署3・出張所1)	2,391,823千円 (52.97%)
教 育 費 (視聴覚教材センター・教育相談センター)	59,154千円 (1.31%)
公 債 費 (施設建設借入金の返済金)	535,634千円 (11.86%)
予 備 費	5,000千円 (0.11%)
合 計	4,515,853千円 (100.00%)